

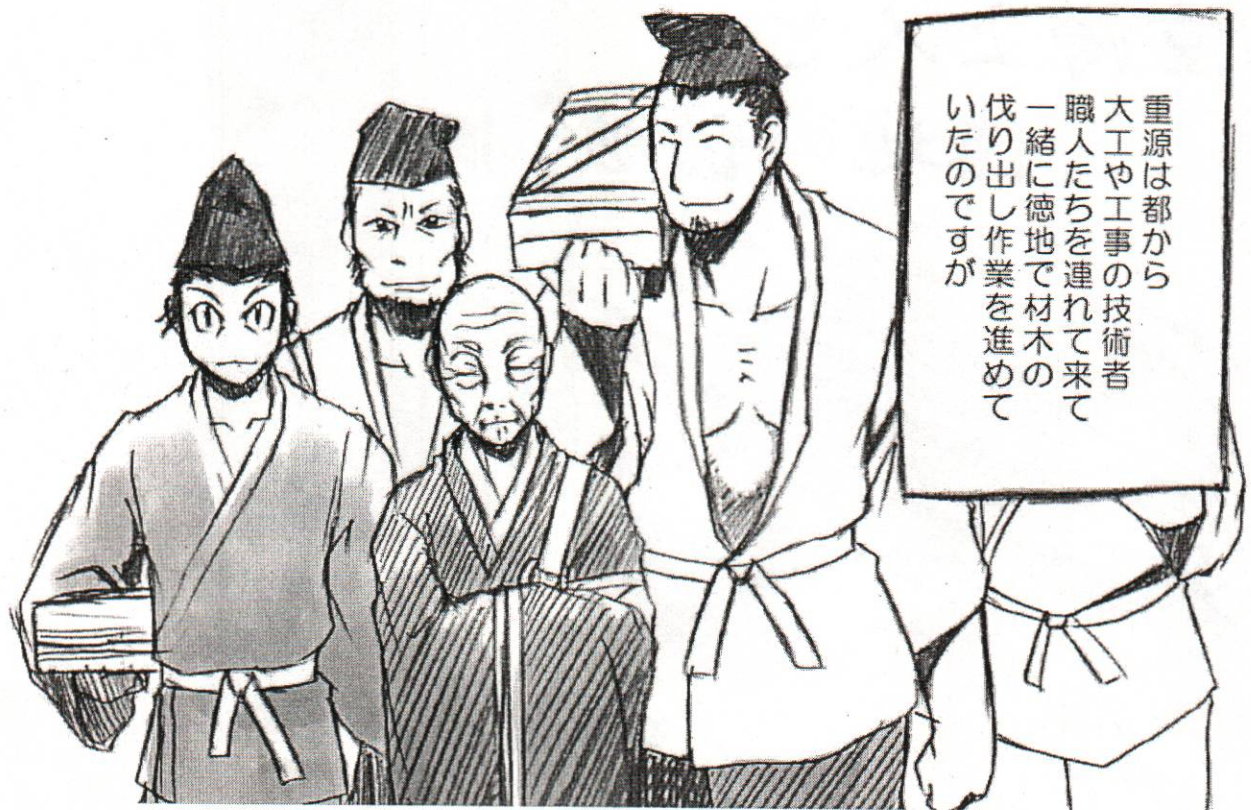


徳地の不思議物語
重源上人と
徳地の佐波洲

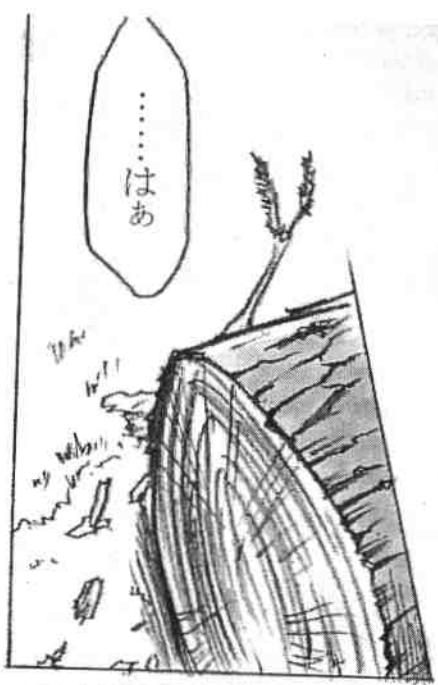


源平の合戦の折
平重衡の軍が火を放ち
東大寺は焼失

この東大寺の再建に
使う材木を求めて
徳地にやってきたのが
俊乗房重源でした



重源は都から
大工や工事の技術者
職人たちを連れて来て
一緒に徳地で材木の
伐り出し作業を進めて
いたのですが



……はあ

ある日のこと



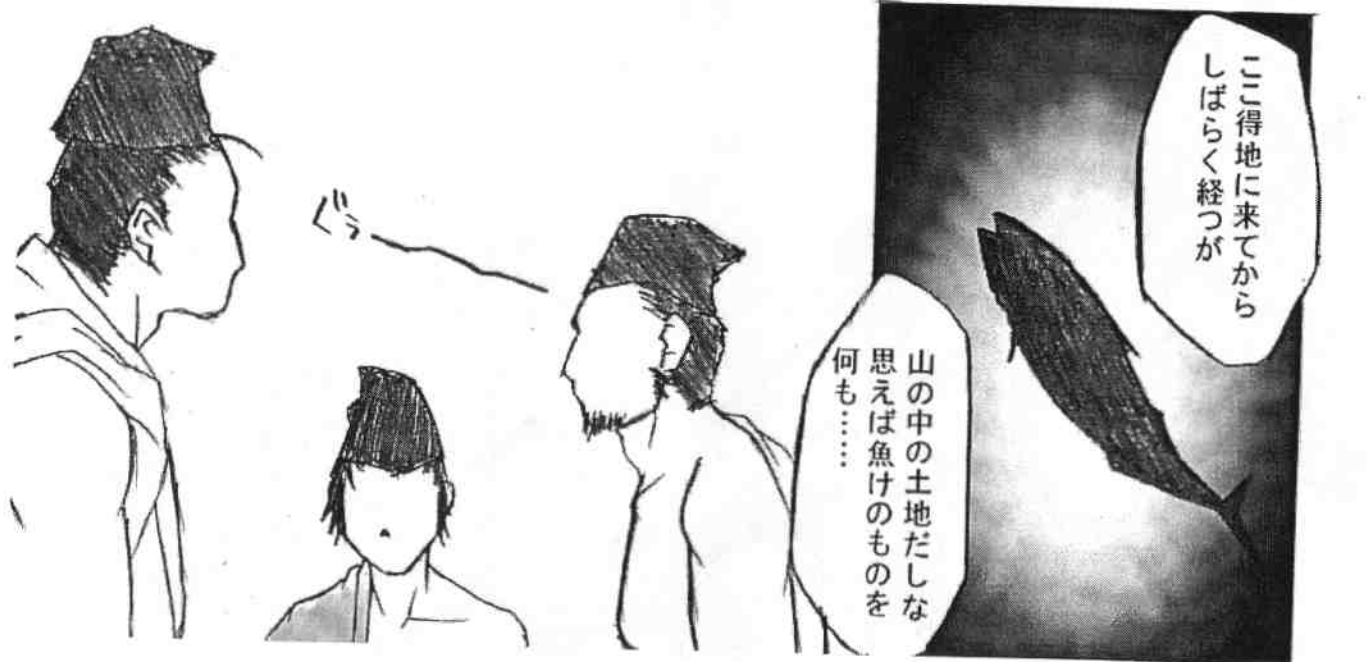
なるほどな

ハハ:

今日の飯も
野菜や山菜ばかり
かと思うと

いや、こら

なんだよ
ため息ついて……
やる気削ぐなよ



ハハ

山の中の土地だしな
思えば魚けのものを
何も……

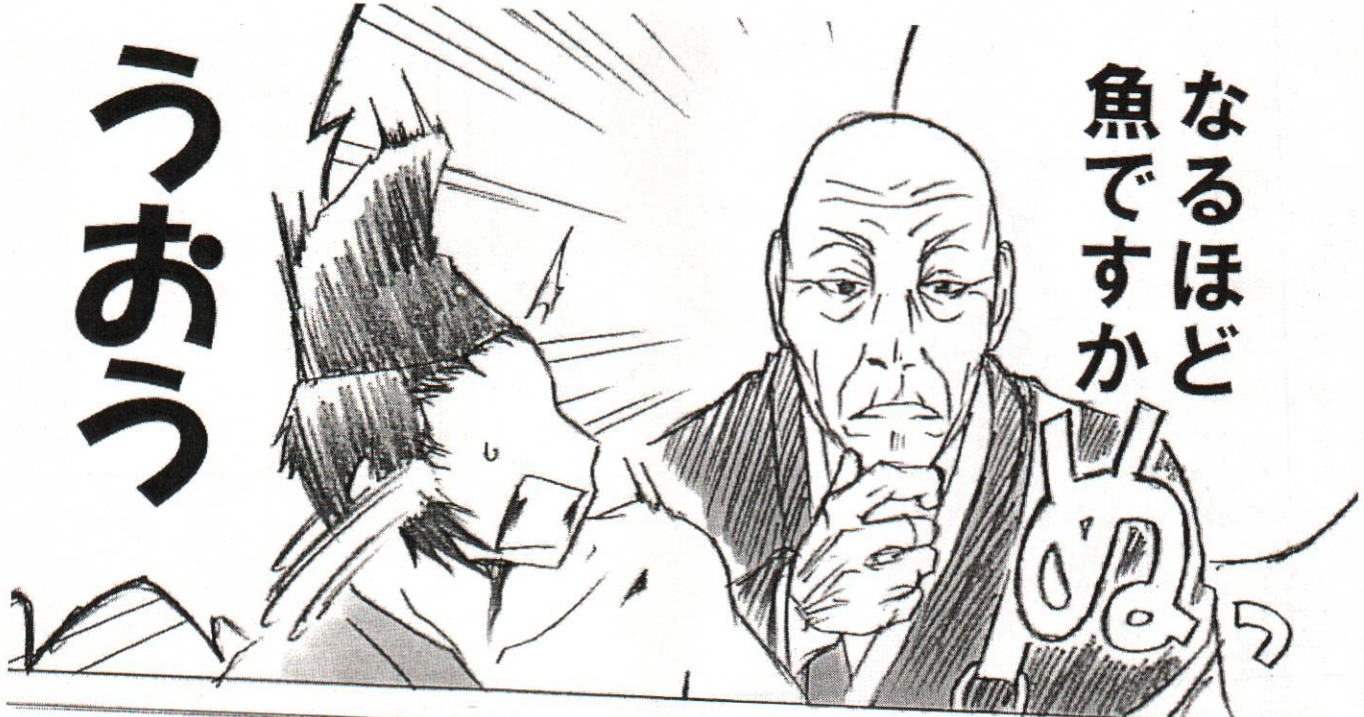
ここ得地に来てから
しばらく経つが



なるほど
魚ですか

うおお

ぬっ



上人様!?

いや
これはその...

良いですよ

私が何とかして
差し上げましょう





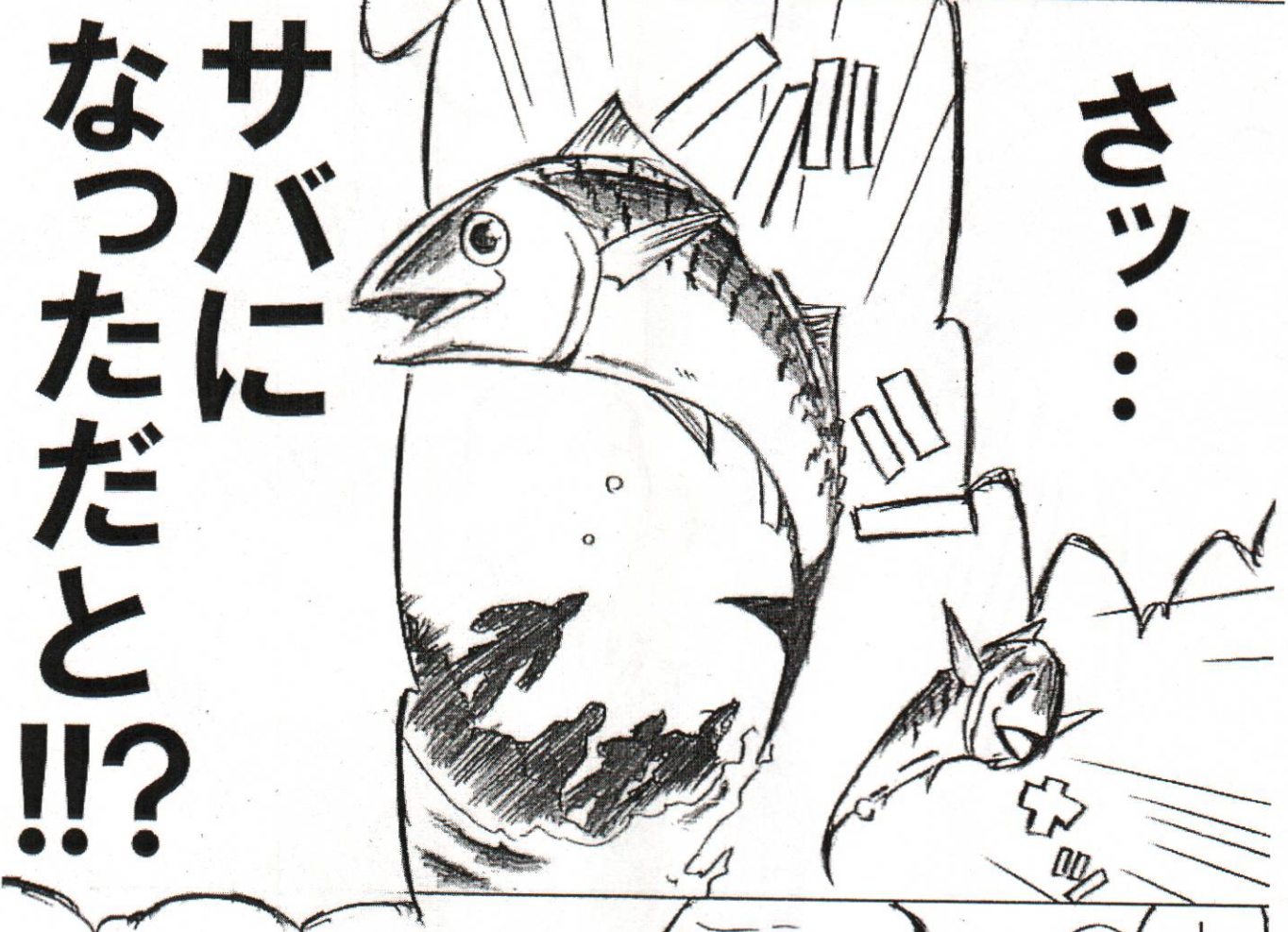


木っ端が
動いて…

見ろ

!?

ゴウ



サバに
なっただと
!!?

さっ…



—さあ

これを食べて
力を付けなさい

貴方がたにも
まだ頑張つて
もらわなければ

—とは言え
木切れの化けた鯖
職人達は半信半疑
でしたが



怪しみつつも
これを食べて
みますと

せーの
せーの
せーの



む

ぬッ

!

美味アい!!

こうした
重源上人の奇跡で
まことの鯖が現れた
この川は

「鯖川」
(佐波川)と
呼ぶようになったと
現代にも
伝えられています

